ボランティア・市民活動センター情報紙 たまご No.272
2015年8月号

情報ネットワーク

どっこいしょ広場での開催予定
（ベルビア1階）

♪ 歌の集い（サークルともしび）
8月22日（土）13時30分～

☕ どっこいしょ喫茶
8月8日（土）は
茅野どんばんのためお休み

だれでもよっといで～

ボランティア活動紹介

おひさまクラブに
おじゃましま～す！

私たちのグループは、花好きの人が集まっているので、いつも花談義に華が咲きます。

年に１回は日帰りでガーデン見学をし、腕を磨いています。一年草は苗作りから始めますが、素人なのでうまくいかない時もありますが、そんな時は、「ケ・セラ・セラ なるようになる」という気持ちでやっています。これからの時期は、ビオラの種まき＆苗づくりをはじめていきます。

みなさんも、私たちと楽しい花壇づくりを楽しみませんか♪

市長さんにお聞きしたいこと お伝えしたいことがたくさん出ました。

6月23日㈫茅野市ボランティア連絡協議会主催『**市長と語る会**』が開催され、50人余りが参加しました。

こんな意見が出されました。（一部）

- 森や自然の中で小さい子どもたちが、安心して野外体験を楽しむ活動をしているが、市も応援してもらえないか。
- 昨年の災害対応の時に、公共施設で使い勝手の良くないところがあったが何とかならないか。
- パートナーシップのまちづくりについて、ずっと長い間パートナーシップということを言ってきているわけですが、最近は違う考え方の人も出てきているのではないかと思う。パートナーシップの推進とはどういうことなのか再度確認させていただきたい。
- 分かちあい支えあいの地域づくりは正にパートナーシップだと思うが、地域でのボランティア活動をどのように応援していただけるか。
- こういう会を見ても、女性がほとんどで男性の参加が少ない。男性がボランティアに目を向けていただくと茅野市はよくなると思う。リタイアした人にどう声をかけていいかわからないが、誘ったり声をかけたりしてもらうことはできないか。

- 市民活動などパートナーシップの気持ちで肩を並べ、一緒に活動していたつもりだったが、議会答弁や報道の結果にびっくりしショックを受けることがたびたびある。市民と行政が一つひとつ積み重ねてきたことを大事にしてほしい。
- ボランティア活動や市民活動の関わりに対して行政職員も、活動に積極的に参加してほしい。視察気分の参加では活動者の気持ちがわからないと思う。
- 太陽光発電パネルの設置が増えてきており住民として心配している。遊休農地の活用など、早急な対策を検討していただきたい。
- バス路線が廃止になったところもあり、高齢者や障害者が困っていると思うので、復活をしてほしい。
- パートナーシップは行政職員が市民を巻き込んで行くくらいでないと盛り上がらない。そのためには、職員のボランティア意識が高くないと難しい。長期間かけてその意識が育つことを考えてほしい。
- 行政職員に、ボランティア活動者や住民の立場をもう少し理解していただけるような研修をしていただきたい。